がんばってま～す

第79号　発行月　令和２年 ６月　発行者　社会福祉法人いなほ福祉会
住所　那智勝浦町中里５７５　電話　０７３５－５７－０３３４

映画「星に語りて」上映会

いなほ作業所、ワークショップゆうでは、２月１８日（土）に、東日本大震災を舞台にした映画「星に語りて～ Starry Sky ～」の上映会を那智勝浦町体育文化会館で開催しました。

この映画は、障がいのある方を支援する全国組織「きょうされん」（旧：共同作業所全国連絡会）が４０周年を記念して製作したもので、東日本大震災を背景に災害で被災した障がい者と支援者たちの活動を、実話を元に描かれたものです。

映画では、震災直後「障害者が消えた」という情報が駆け巡り、障害者支援団体が避難所を回っても障がい者の姿が見当たりませんでした。災害が起こり混乱の中、健康な方を想定した避難所では必要な支援も受けられず、周囲の冷たい目や居場所がないため、多くの障がい者やその家族は避難所から半壊した自宅に戻り身を潜めていたというのです。

この映画では、プロの俳優とともに、素人の障がい者４人も熱演しています。被災した障がい者が直面する現実を知ってもらい、いつ起こり得るか分からない災害に備え、誰も取り残さない防災について考えてほしいとの願いが込められています。

当日は、昼の部、夜の部の２回上映を行い、地域の方々、関係者を含め、約３００名の方が会場へと足を運んでいただき、映画の趣旨のひとつでもある東日本大震災を「忘れない」ことや東南海大地震が近い将来起こると言われているこの地域で、大勢の方々と映画の内容を共有し、学ぶことができた事は大きな成果だと思います。映画を鑑賞された方々からも「とても感動した。」「涙が止まりませんでした。」「いつ来るかもしれない災害に備えることが必要だと思った。」など映画への声を頂きました。

会場へと足を運んで頂いた皆様、本当にありがとうございました。また、映画を上映するにあたり、ご協力頂きました行政機関の皆様をはじめ、チケット販売や広報をお引き受けいただいた皆様などたくさんのご支援をいただき成功を収めることができ、感謝を申し上げます。

４月１８日（土）串本文化センターで予定していました映画上映会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、延期とさせて頂きました。
上映日程については、決まり次第、新聞・ポスター等の掲示でお知らせいたします。前売りチケットを購入してくださった方には、返金等対応させていただきます。

☆　いなほ作業所でのひとこま　☆

３月の「土曜取り組み」では『餃子とチャーハン』を作りました。餃子は包むところから手作り。作ったことがない利用者も大勢いましたが、「水付けるんやで！」「肉入れすぎや！」など言いながらみんな真剣。

うまく包めるのか心配でしたが、ちゃんとおいしく出来上がりました。普段、野菜が食べられない利用者も「美味しい！」と完食。食べた後も「みんなで協力しよう」と声を掛け合い後片付けをしました。

☆　暖海ハイツの健康づくり　☆

暖海ハイツの利用者は最近、「健康づくり、ウォーキング」にやる気マンマンです。

体力づくり、ダイエット、糖尿病改善など、目的はみんなそれぞれ違いますが、スマホの万歩計機能を利用して、今日の歩数を伝え合い、刺激し合ってがんばっています。

☆　平見ハイツのミニギャラリー　☆

ハイツの廊下の一面には、白い壁に利用者たちが銘々に作った作品を飾っていて、ちょっとしたミニギャラリーになっています。

世話人と休日の余暇に作った折り紙や塗り絵などが、殺風景な廊下を色鮮やかに明るくしています。それぞれが個性的な作品になっていて心の安らぐ空間になっています。

ハイツへお寄りの際には、ぜひご鑑賞下さい！

編集後記

いつも、「いなほ福祉会ニュース」をお読み頂きありがとうございます。
梅雨空のうっとうしい季節ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
今回の「がんばってま～す」では、児童分野の春の活動を特集してみました。
春の遠足・おめでとう会、旅立ちを祝う卒園式、新しい仲間を迎える入園式。
子どもたちの笑顔、笑い声が今にも聞こえてきそうですね☆